

明けておめでうと良知

題字紹介

問野良知さん。明治41年生まれ。秋葉区新保在住。旧小須戸町中央公民館の4代目（昭和46年～56年）館長を勤められました。健在であられますので、今年100歳の記念に新年号の題字を書いていただきました。

こすど地区公民館報

発行 小須戸地区公民館
〒956-0101
新潟県新潟市秋葉区小須戸117番地
TEL (0250) 38-2234
FAX (0250) 38-5210
編集 公民館報編集委員会

新年のごあいさつ
「これが私の夢」

公民館と子どもたち

小須戸地区公民館長 杉本昭彦



週に三回ほど小須戸小学校でミニバスケットボールの指導をして七年になります。昨年からは館長の仕事をしながら時間の調整をして子どもたちとミニバスを楽しんでいます。子どもたちの底抜けな明るさとスポーツにかけるひたむきな姿勢にいつも感動して元気をもたらしています。とかく「公民館は大人の施設」というイメージが強いかもしれませんが、

も知れませんが、最近では子どもたちも公民館を利用する機会が増えてきました。小学生から高校生まで、地域の中で子どもたちとかわつていくかをこれからの公民館活動の大きな柱の一つにしたいものと考えています。政令市になって二年目を迎えるようになっています。公民館もいろいろな面で新たな節目に立ち向かうことになると思われます。地域の皆さんにとってよい年でありますようお祈りし、今後とも公民館活動にご理解とご協力をお願いいたします。

新潟市展入選作品の紹介



レクイエム ケッヘル
〔洋画部門〕「Requiem K.626」
村山成夫さん(舟戸)

本人のコメント
絵を描いているとあたかも自分が旅行をしています。あてもなくさまい結果的にあの時途中で引き返していたらまた違った旅になっていたのかもしれない」と。

「うまくならないな」

舟戸一
荏原 日和さん

私は、先シーズンから、スノーボードを始めました。最初は、スキーをやっていたが、だんだんスノーボードに憧れるようになりました。私が最初にスノーボードで滑った所は、二王子のスキー場でした。最初は、周りの人が滑っていたのが簡単そうに見えたので、私にもできると思いました。実際にやってみたら基本の姿勢



舟戸一
荏原 日和さん

もできませんでした。今シーズンに入って私は、奥只見丸山スキー場に行きました。とても雪質が良かったです。でもやってみたら、ほとんど滑れなかった。転んで一回転したり、雪の中を突っ込んだりして雪まみれになってしまいました。今年は、ターンができるように練習をして、いろんなスキー場に行けたらいいと思います。

新しい年に想う

小須戸地区文化協会長 風間源一郎



新年おめでとうございます。新しい年を迎える度にいつも清々しく、新鮮な気持ちになるから不思議です。

「昨年は出来なかった事、今年こそ実現しよう」年頭にはいつもそう思うのですが、一年はあっという間に過ぎてしまいます。昨年は振り返ってみますと課題は一杯有るのに何も対処出来なかったと言うのが本当のところでした。新潟市になり約三年、秋葉区も誕生しました。小さな器から大きな器に乗り換えたのです。ルールが変わりこれまでと違う事も多くなりました。言い換えれば活躍の場が大きくなったと言う事です。仲間が増えたと言う事です。市民展には新潟地区から素晴らしい作品が展示され新鮮な感動を与えてくれました。秋葉区展と名を変えた旧新潟市展には小須戸地区からも多く出品され、二点が最優秀賞に選ばれ賞賛されました。少いですが秋葉区としての一体感が進んでいます。この大きくなった器に私達の夢を一杯に掛けて発展したい、これが私の初夢です。

観に行ってみてくんなせや

その1 「お楽しみ大会」に参加しよう

第三十回となる高齢者クラブ主催「お楽しみ大会」は、二月三日(日)午前九時三十分より開会。楽しい一日を過ごす予定です。会員以外のみなさんも、ぜひ

その2 第十七回新潟市公民館合同展

新潟市内の公民館を利用してのグループの作品を一同に展示しています。出品内容 絵画・書道・篆刻・表装・手工芸・文芸・写真・児童作品等

会期 二月六日水～二月十一日月
午前九時半～午後六時
(初日のみ十時開場)
会場 新潟市美術館(西大畑町)

文化講演会のお知らせ

テーマ「チャレンジする気持ち」

講師 蓮池 薫さん

《新潟産業大学 嘱託職員兼非常勤講師、翻訳家》

日時 3月23日(日) PM1:30～3:00

会場 小須戸地区公民館(3階ホール)

《入場無料》

主催 小須戸地区公民館・文化協会

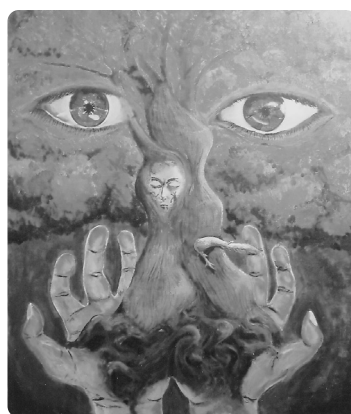


【応募方法】往復はがきでご応募ください。2月29日(金)必着。《定員350名》

956-0101 新潟市秋葉区小須戸117 小須戸地区公民館 往信	郵便番号 おとこ おなまえ 返信	蓮池 薫講演会希望 希望席数 郵便番号 住所 氏名 電話番号 席
--	---------------------------	--

応募多数の場合は抽選を行います。

※はがき1枚につき2名まで招待いたします。



大衆賞 「生命」

本間雄貴さん(絵画)

私の中で、この絵はまだ完成したとは思っていません。なぜなら絵に完成は無いと思っているからです。さらに良くなる方法が存在するかもしれませんが私の実力はこの段階であると思います。自分ではまだ納得してはいませんが全力で描きました。

蒼丘展 《新潟南高校の生徒作品展》

うさちゃんルーム

会場 小須戸保育園
対象 保育園に入っていない0才、1才、2才、3才のお子さんと付き添いの方
利用方法 当日保育園へおいでになり、名簿を書いていただくだけです。(参加費無料)
活動日 2月6日(木)「豆まきと一緒にしましょう」
3月5日(木)「親子でふれあい遊び」
時間 午前9時～10時30分
問合せ先 小須戸保育園 ☎0250-38-3077

女性将棋愛好会 会員募集

日時 毎週金曜日、午後1時～5時。(祝日休み)
会場 新津本町2、本町二番館4階402。
指導員 日本将棋連盟新津支部。
会費 月500円。

問合せ・申込み 女性将棋愛好会 ☎0250-23-1225 山崎。

新潟県庁で作品展を開いてみませんか？
～平成20年度上半期(平成20年4月～9月の展示分)～
展示料は無料。昨年は公民館の「初心者木版画教室」の受講生作品を展示しました。[個人でも団体でも可]

応募締切 平成20年2月15日(金)
興味のある方は、地区公民館までお問い合わせ下さい。
☎0250-38-2234

小須戸の町並みの活かし方

十二月六日に、商工会館にて、小須戸町並み景観まちづくり研究会主催の講演会が開催されました。講師に、新潟大学工学部の岡崎篤行准教授を迎え、「町並みを活かしたまちづくり」と題して、ご講演いただきました。概要をご報告します。



今も当時の職人さんのにおいが感じられる町並み

小須戸の町並みは、①伝統的な敷地割りや道路網が良く残っている②質の高い戦前の建築が「絵になる風景」として通りの両側に並んでいる③伝統的な建築意匠がよく手入れされた中庭がみられる④周辺の田園や信濃川も含め在郷町としての環境全体が感じられる、等の点で価値があり、蒲原平野の代表する町並みといえます。

これからの社会は、地域の個性や付加価値の高い商品の発掘が求められており、従来の団体の物見遊山でない少人数・体験型の都市観光も注目されています。そのような中で、町並みは最大の観光資源であり、また住

「貴重な財産だと思った」

十一月に実施された「町屋の散策」と十二月に行われた「准教授の講演(上記掲載)」に参加した長井利夫さん(小須戸)の喜びの声を紹介します。

他の町村にはあまり無いと言われる町屋を間近に見せて頂き、或る種の感動でした。小須戸という在郷町に住んでおられた、何十年前前の大工さん、屋根屋さん、左官屋さん、材木屋さん、庭を造った人……。

その職人さん達の技術が込められた建物が今に残されているという事を想像しながら廻らせて頂きました。

この町が信濃川の川湊として栄えていた当時の地域の人が作った文化なのだと思えて気が付かされた次第です。それを守り、維持されて来られた方々に頭が下がります。

公民館主催の教室・講座ご案内

◎地域の伝統を残そう

「初心者シノブ細工講習会」
古来から夏の風物詩として家の軒先などに飾られ涼しげな葉が清涼感を呼ぶ「シノブ細工」を作ってみましょう。
日時 二月十二日(火)、二十六日(火) 午後七時半～九時十五分
会場 地区公民館(サークル室)
対象 どなたでも、どうぞ(定員二十名)

県障害者芸術文化祭「工芸部門」審査員特別賞



「夕日(さき織り)」

諏訪間昌志さん(小須戸)
あくまでも、注文で織ったものです。けっして私の趣味ではありません。今後は、注文があれば又「さをり織り」と「さき織り」を頑張りたいと思います。

来年以降の当研究会の活動が目ざれますが、地元住民とともに、小須戸の町並みをどう活かしていくの期待をします。小須戸町並み景観まちづくり研究会代表 保科正晴(矢代田)

講師 田中栄作さん(ウデコキ) 五十嵐スズエさん(ウデコキ) 田中キイさん(ウデコキ)
参加費 一回五百円(諸材料費) 持ち物 普通のハサミ
申込み 二月七日(木)までに、地区公民館へ☎381-2234

※単発の参加も、できます。
◎「高齢者生きがい講座」開催のお知らせ
高齢者クラブ連合会と公民館の共催で毎年開催されている高齢者生きがい講座を二月に開催します。「NPOお笑い事業団ニイガタ」の鈴木正

「小須戸の歴史的町並み再発見」にいがた地元学秋葉区活動報告会

本年度、新潟市の補助金により小須戸コミ協が実施した「小須戸の歴史的町並み再発見」の取組みについて、次のとおり活動報告会を開催します。ぜひ、お気軽に参加してください。

開催日時 平成20年2月16日(土) 10時～12時
場所 小須戸地区公民館3Fホール(入場無料)
内容 にいがた地元学とは(着眼点・進め方) 活動報告(小須戸コミ協) 意見交換
主催 にいがた地元学秋葉区活動報告実行委員会 新潟市
問合せ先 秋葉区政策企画課地域振興係 ☎25-5670

予 告

◎小須戸吹奏楽団「第四回演奏会」

日時 二月二十四日(日) 開場一時半・開演二時
会場 小須戸地区公民館三階ホール
協力してくれる家族や関係者の方々に感謝して、練習中

◎「にいがた市民文学」上位、入賞者のみ紹介
佳作 坂井 隆思(新保)
佳作 渡邊 信子(小須戸)

◎「にいがた市民文学」(俳句部門)
佳作 渡邊 信子(小須戸)

◎「にいがた市民文学」(川柳部門)
佳作 渡邊 信子(小須戸)

入選おめでとうございます

次の展覧会、コンテスト等で、小須戸地区から次の方々が入賞・入選されました。
◎県ジュニア美術展覧会(奨励賞)
「幼稚園・保育園の部」
四歳児 たなべゆうり(小須戸幼稚園)
「小学生の部」
二年生 長沢涼太郎(小須戸小学校)
中野 佐香(小須戸小学校)
五年生 土橋 和牧(小須戸小学校)
森田 遊成(小須戸小学校)
五十嵐亮一(小須戸小学校)

◎にいがた市民文学

なご、同展覧会は巡回展として長岡(二月十九日～二十八日)県立近代美術館で観賞することができます。(入場無料)

◎「にいがた市民文学」(俳句部門)
佳作 坂井 隆思(新保)
佳作 渡邊 信子(小須戸)

◎「にいがた市民文学」(川柳部門)
佳作 渡邊 信子(小須戸)

◎「にいがた市民文学」(川柳部門)
佳作 渡邊 信子(小須戸)

文芸 あきは

「俳句」最優秀賞の紹介



白丁花 間野良遊さん(新保)

山門に憩ふひと時囁れる
世を遠く生きてひとり良夜かな
草庵に春寿の句碑や白丁花
そこここに亡妻の面影牡丹園
飄々と生きて白寿やからす瓜

《受賞の言葉》
当年百歳、俳句を唯一の趣味として余生を過しております。思はぬ賞を頂いて本当にありがとうございます。更に今後への励みといたします。

我ら公民館「夢中」に「フィットネス・ヒラティス」に参加して



斉藤好美さん(小須戸) 健康面です。若い時は考えることもなかったですが、今回参加する事によって皆さんと会えたり、おしゃべりしたり、手軽にできる運動を自宅でやり、ずっと続けられたらいいなと思います。

歳をとるにつれて思うことは健康面です。若い時は考えることもなかったですが、今回参加する事によって皆さんと会えたり、おしゃべりしたり、手軽にできる運動を自宅でやり、ずっと続けられたらいいなと思います。

シリーズ「今、子どもたちは」(136)

クリスマス会

あつという間に十二月、今年ももうすぐ終わりです。お祭りごっこやマジックショーをして、夏休みも過ぎ、冬休みが近づき、クリスマス会をする事となりました。部屋の中を少しづつ、模様替えして、低学年や高学年の子供と一緒に、折紙でリースとツリーを作り、部屋に貼り付け、窓ガラスには、スノーマンやサンタクロースのデコレーションを貼り、イルミネーションのクリスマススマードでいざ本番！イルミネーションの光の中、クリスマスソングをハンドベルの音色で奏でます。



ごちそうを前にして、ビンゴ大会だー

文芸欄

死ぬまでの生命いとしや福寿草
月落ちて夜明けの近きパン屋の灯
いなり堂鈴音からび秋深む
大根の太りて自信とりもどす
妻いつも何かを編める秋灯下
抑留の慰謝賜わり置時計
積ん続のふゆる枕辺十二月
玄関の鍵穴照らす冬の月
極月や姉と一緒に落葉掃き

間野良遊
中野太浪
佐久間久子
丸山栄子
渡辺信子
田沢観永
間野えり
吉澤文子
藤井ハルエ

東京は天へ昇つて地に潜る
鉄腕アトムが現れそうだ
我が顔に暗き空より届きたる
一片の雪これも縁か

青木善明
五十嵐淳

床置きを褒めてから出す奉加帳
主義主張あの手この手で敵を攻め
好物を並べ子供の初帰省
仕掛け賢あの手この手の誘い水

藤井春江
能登としお
高橋ただし

◎新津南高等学校開放講座
テーマ 「能と平家物語」
日時 1月26日(土) 午後2時～4時
会場 新津南高等学校
講師 池亀由紀先生

テーマ 「アトランティス伝説について」と「閉講式」
日時 2月16日(土) 午後1時半～4時
会場 新津南高等学校
講師 高坂潤子先生

◎初心者木版画教室(午前の部)
はじめての方でも、講師がていねいに指導します。お気軽にどうぞ、ご参加ください。
日時 平成20年4月8日(火)～3月までの第2・4火曜日 午前10時～正午
会場 小須戸地区公民館 対象 どなたでも

講師 幸 愛麻さん(版画家)
持ち物 水彩画を描く道具、彫刻刀など
参加費 材料費、受講料は、自己負担
問合せ 2月29日(日)までに地区公民館へ
備考 ・夜間の部も、あります。お気軽にお問い合わせ下さい。
・この教室は公民館の主催ではありません。

【案内】

〈訂正〉先月号の公民館報の1面トップ記事で、名前の誤りがありました。(誤)川村大輔さん(正)川村大介さん